

三 対中国借款関係雑件 (一) 三三四 三三五

二九〇

株式会社日本興業銀行總裁志立鉄次郎代理

株式会社台灣銀行理事

交通銀行總理

交通銀行協理

曹 汝 霖  
任 凤 苞

右訓令トシテ紐育、「シカゴ」ニ転電アリタシ

二 興亞公司借款

三三四

一月八日

本野外務大臣ヨリ  
在米國佐藤大使宛(電報)

一月十日

斎藤在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ  
上原參謀總長(電報)

保利公司借款成立ニ関シ報告ノ件

約二関連シ右資金ノ出所ニ付取調方訓令ノ件

財政部ト保利公司トノ間ノ借款及制錢收鍊契

三三五

一月十一日

斎藤在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ  
上原參謀總長(電報)

電報

(一月十一日接受)  
一月十日 午前一〇時二〇分発  
午後七時三八分着

參謀總長宛

斎藤少將

第四号

客臘末支那財政部ハ支那全國商務總會連合会ノ手ニテ設ケタル保利公司トノ間ニ五百萬元ノ借款契約及資金五百萬元ヲ以テスル制錢收鍊ニ關スル契約ヲ締結シタル趣ニテ當時偶々「ゼンクス」博士ヨリ財政總長ニ対シ米支鐵道交渉ノ際ニ於ケル其援助ニ對スル報酬トシテ制錢六万噸ノ買收權ヲ要求シ來タリタル趣ノ報道モ伝ハリタルヲ以テ旁々本件資金等ハ米國其他ノ外國筋ト何等カ關係ナキヤ目下在支公

使ニ於テ折角取調中ノ處前在本邦支那公使陸宗興ノ芳沢ニ語ル處ニテハ保利公司ノ出資ハ Anderson Mayer 又ハ Carey ノ如キ米國資本家ノ關係セルモノナリトノコトナルカ貴官ニ於テモ本件資金等ハ米國側トノ間ニ何等關係ナキヤ取調回電アリタシ

スルノ運ニ至リシカ愈々昨九日ノ衆議院ニ提出セラレ討議ノ結果原案ニ一部ノ修正ヲ加ヘテ通過セリ(一月七日支常報一号参照)

閩東都督參謀長、支那駐屯軍司令官、青島參謀長、青木中將、中支那司令官通報済

第三三号

三三六 一月十一日 在紐育矢田總領事ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

保利公司借款ト米國資本トノ關係ニ關シ報告

ノ件

第五号

在米大使宛貴電第四号ニ關シ「ストレイト」ノ本官ニ語ル所ニ依レハ該借款ハ「アメリカン、インターなしヨナル、コルボレイション」ニハ關係ナシ但シ「アンダーソン、メイヤー、カンパニー」ト關係アルヤ否ハ承知セズト云ヒタルガソノ口吻ヨリ察スレバ或ハ「アンダーソン、メイヤー、カンパニー」ヲ通シテ「アメリカン、インターなしヨナル、カンパニー」カ關係シ居ルヤモ計ラレズト思ハル節ナキニアラス尚他ノ方面ニ付内探中

本電在米大使ヘ転電セリ

三三七 一月十一日 在中國林公使ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

保利公司ト米國筋トノ關係ニ付鮑宗漢ノ船津ヘノ内話報告ノ件

往電第七号ニ關シ一月十日夜船津カ独逸商「シーメンス」  
商業ノ買辦鮑宗漢ニ面会シタル序ヲ以テ同公司ノ件ヲ尋ネタルニ同人ハ商務總會連合会会长呂達先及副會長金森等トハ極メテ懇意ノ問柄ニテ本件計画ニ關シ種々相談ニ与リタル由ナリ現ニ同公司ハ今回財政部トノ契約ニ基キ調印後三ヶ月内ニ五百萬元ヲ政府ニ交付スルコトトナリ居ルモ今尚十分ノ準備整ハサルタメ当事者等百方奔走ノ末楊度カ同人所有ノ湖南「アンチモニー」鉱山会社株券ヲ担保トシテ差支ナキ旨承諾シタルニ付早速自分(鮑)ノ斡旋ニテ德華銀行ニ借款ヲ申込ミタルモ同銀行ニテハ証券ノ担保ニテハ貸出來ストテ之レヲ拒絕シタルヨリ更ニ「アンダーソン、メイヤー」ニモ交渉シタル由ナルカ之レ又不調ニ終ハリシ由爾來呂達先ハ天津濟南方面ニ於テ頻リニ奔走中ナルカ今尚見込立居ラス叙上ノ始末ナルヲ以テ保利公司ハ表面支那

三 対中国借款関係雑件 (一) 三三八 三三九

二九一

人ノ經營ナルモ結局資金ハ何等言訳ノ立ツ方法ニテ内密ニ  
外國ヨリ借入ルル外ナカルヘシ

保利公司ト米国筋トノ関係ニ関シ矢田總領事  
ノ報告通報ノ件

第二八号

締結スペキコトヲ勧誘シタルモ元來本公司ハ日本ノ資本ヲ  
排斥スルタメニ組織セラレタル行懸アル為メ今日俄カニ日  
本資本家ト提携スルコトハ甚々面白カラズトテ躊躇シ居ル  
次第ナリ併シ適當ナル日本資本家アレバ自分ハ極力斡旋ノ  
労ヲ辞セザルベシト内話シタルニ付船津ハ其内適當ナル資  
本家見当リ次第紹介スベシト答へ置キタル由ナリ尚ホ鮑ハ  
近親呂達先等ト親密ナル關係アルト從来種々借款等ノ仲介  
ヲ為シ居ル経歴アルニ顧ミ同人ノ談話ハ稍々其真相ヲ伝フ  
ルモノト信セラル果シテ然リトスレバ場度關係ノ「アンチ  
モニー」鉱山ヲ目的トシテ何等カノ引懸リヲ作ル為メ不取  
敢其株券引当ニ借款ニ応シ置クトキハ今後ノ成行如何ニ依  
リテハ更ニ保利公司ノ事業ニモ手ヲ伸ハスコトヲ得ルコト  
アルヤモ計リ難シト存セラル、ニ付久原代表者ハ右聞込  
ミタル儘内報シ置ケリ（奉天經由一月十二日前〇、一〇）

三三八 一月十一日 本野外務大臣ヨリ  
在中国林公使宛（電報）

三三九 一月十二日 在中国林公使（ヨリ）  
本野外務大臣宛（電報）

保利公司ノ背後關係ニ付報告ノ件

第三六号

（一月十三日接受）

往電第七号ニ關シ其後北京商務總会ヲ初メ主トシテ支那部  
各方面ニ付取調ヘタル所ニ依レハ保利公司ハ全然支那人ノ  
出資ニ掛リ発起者タル全國商務總會運合會會長呂達先（元  
參議院參政ニテ湖北ノ實業家前電呂達先トセシハ呂達先ノ

誤リ）最モ熱心ニ奔走シ居リ盛ニ其ノ事業ノ有利ナルヲ  
吹聴セシタメニヤ漢口上海方面ノ支那商ハ隨分乘リ氣ニナ  
リ居ル由ナルモ北京天津方面ノ資本家ハ寧ロ躊躇シ居ル模  
様ナリト云フ蓋シ鍊銅事業ハ隨分利益アル如キモ製品ノ売  
捌等ニ關シ外國市場ト十分ノ連絡ナキ限り有利ノ成績ヲ上  
クルコト困難ナルヘシトハ一部支那商人ノ懸念スル所ナル  
如シ尤モ此ノ点ニ關シテハ陳財政總長ノ斡旋ニ由リ「ゼン  
クス」博士ヲ利用シテ米國方面ト相應ニ連絡ヲ付ケ居ルニ  
付差シタル困難ナカルヘシト云フモノアルモ果シテ事實ナ  
ルヤ否ヤ確カナラス又本件ニ付テ商務運合會副會長金森モ  
熱心ニ奔走シ居ル由ニテ同人ハ曾テ礼和洋行ノ「コンプラ  
ドル」タリシコトアルヨリ或ハ独逸商トモ何等カノ連絡ア  
ルニアラスヤトモ疑フモノアル由ナルカ此又確カナラス兎  
ニ角支那現下ノ金融狀態ニ鑑ミ縱令有利ナル事業トハ云ヘ

其ノ際政府委員ハ本公司カ全然支那人ノ資本ヨリ成リ断シ  
テ外資ナキヲ声明シ同時ニ一議員ノ提議ニ基キ保利公司ノ  
上ニ華商ノ二字ヲ冠スルコトヲ議決シタル由ナリ要スルニ  
今日迄内探シタル所ニテハ未タ外資ヲ借入レタル確証ヲ發  
見スル能ハサルヲ以テ或ハ本件ハ差当リ支那資本ヲ以テ經  
営スル計画ナランモ今後資金ノ募集意ノ如クナラサル場合  
ハ如何ナル陰密ノ手段ニ由リテ外資ヲ借入ルルコトナシト  
モ計リ難キニ付此点ニ付テハ精々注意ヲ払フ必要アルヘシ  
ト思考ス（奉天經由一月十二日後九、五〇）

三四〇 一月十三日 在中国林公使（ヨリ）  
本野外務大臣宛（電報）

保利公司ニ付鮑宗漢ノ船津ニ対スル内話報告

ノ件

第四〇号

一月十二日鮑宗漢ノ船津ニ内報スル所ニ拠レバ保利公司發  
起人等ハ外間ニ向ヒテ既ニ八百万弗ノ準備出来居ルナド吹  
聴シ居ルガ實際ハ单ニ其株券ノ引受ヲ承諾シタルモノ馮國  
璋ノ百万、漢口官銀局ノ百万、其外張勲倪嗣冲等及各地商  
会ノ引受高ヲ合セ約四百万弗ニ達シ居ルモ未ダ現金ヲ交附

三 対中国借款関係雑件（一）三四一

二九四

シタル訳ニアラザレバ今後同公司事業ノ成行次第ニ依リ如何ニ変化スルヤモ計リ難シ自分ノ観察スル所ニテハ外資ニ依ラザレバ先ツ成功ノ見込ナシト考ヘラルニ付自分ガ嘗々テ華洋合弁ニテ豊華公司ナルモノヲ組織スル計画ヲ建テ既ニ農商部當局ノ内諾ヲ得居ルヲ以テ若シ適當ノ外国資本家ニテ出資者アラバ此際右計画ヲ実現セシメ裏面ニ於テ有利公司ト關係ヲ結ブコト困難ナラザルベシト思料ス尚ホ楊度ガ抵当トスルコトヲ承諾シタル華昌公司株券ハ額面約六十万弗ナリトノコトナリ

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿  
保利公司契約案両院協議会通過ノ件  
臨時代理公使 芳沢謙吉（印）

シタル訳ニアラザレバ今後同公司事業ノ成行次第ニ依リ如何ニ変化スルヤモ計リ難シ自分ノ観察スル所ニテハ外資ニ依ラザレバ先ツ成功ノ見込ナシト考ヘラルニ付自分ガ嘗々

テ華洋合弁ニテ豊華公司ナルモノヲ組織スル計画ヲ建テ既ニ農商部當局ノ内諾ヲ得居ルヲ以テ若シ適當ノ外国資本家ニテ出資者アラバ此際右計画ヲ実現セシメ裏面ニ於テ有利公司ト關係ヲ結ブコト困難ナラザルベシト思料ス尚ホ楊度ガ抵当トスルコトヲ承諾シタル華昌公司株券ハ額面約六十万弗ナリトノコトナリ

三四一 二月十六日 在中國芳澤臨時代理公使ヨリ

財政部及保利銀公司間ノ借款契約案及收煉制

錢契約案両院協議会通過ニ付詳報ノ件

附記一 中国財政部ト保利銀公司トノ借款契約

二 中国財政部ト保利銀公司トノ收煉制錢契約

（二月二十六日接受）

公第五八号

大正六年一月十六日

在支那

原案ヲ復活シ之ヲ衆議院ニ回付シタルニ一月二十日ノ衆議院ハ重ネテ前議ヲ固執シ両院協議会ヲ開クコトヲ議決シ組織

來両院ヨリ各委員十五名ツ、ヲ選出シテ両院協議会ヲ組織

シ互ニ研究中ナリシカ二月十五日衆議院ノ第五休息室ニ両

院協議会ヲ開催シ抽籤ニヨリ衆議院委員黃雲鵬ヲ委員長ト

シ討論投票ノ結果衆議院修正議決案可決セラレ候何レ衆議院本會議ヲ經テ確定可致候乃チ両契約ノ保利銀公司ノ上ニ

華商ノ二字ヲ加ヘ

第一条 本部ハ本公司ヨリ五百萬元ヲ借款スルニ因リ本公司

第一條 本部ハ本公司ニ向ヒ銀五百萬元ヲ借入ル

第二條 借款ハ手取九十四トシ銀元ヲ以テ交付ス

第三條 借款年利六分交付ノ日ヨリ十五日以内ニ本公司ヨリ銀百

五十分シ本部ハ五分ヲ得收錢ノ各省五分ヲ得本公司五分ヲ

得獎励金此内ニ在リ收錢各省所得ノ利益ハ地方公益事業

ヲ辦理スルヲ以テ限リトシ省議會ノ議決ヲ經ルニ非ザレ  
バ支用シ得ザルモノトス

第三条 収煉制錢ノ余利ハ一切ノ支出ヲ除キタル外之ヲ十

モ六万噸ヲ逾ユルヲ得ズ

第四条 収煉制錢ノ余利ハ一切ノ支出ヲ除キタル外之ヲ十  
モ六万噸ヲ逾ユルヲ得ズ

第一条 本部ハ本公司ニ向ヒ銀五百萬元ヲ借款スルニ因リ本公司

第一條 本部ハ本公司ニ向ヒ銀五百萬元ヲ借款スルニ因リ本公司

第二條 借款ハ手取九十四トシ銀元ヲ以テ交付ス

第三條 借款年利六分交付ノ日ヨリ十五日以内ニ本公司ヨリ銀百

五十分シ本部ハ五分ヲ得收錢ノ各省五分ヲ得本公司五分ヲ

得獎励金此内ニ在リ收錢各省所得ノ利益ハ地方公益事業

ヲ辦理スルヲ以テ限リトシ省議會ノ議決ヲ經ルニ非ザレ  
バ支用シ得ザルモノトス

第五条 第六条刪除

右ノ結果利益ノ分配原契約ニ於テ公司ハ七分ヲ得ヘキヲ五

分ニ減削セラレ收錢ノ各省ハ元ト三分ナリシヲ五分トナリ

タル訳ニテ公司側ニテハ多大ノ不利ヲ蒙ル次第トナリタレ

ハ当初ヨリ種々異論アリタル行掛リ及ヒ集資因難ノ關係上

迅速ニ実行サル、ニ至ルヤ否ハ大ニ疑問ニ有之候右及報告  
候也

（附記一）

財政部ト保利銀公司トノ借款契約

財政部（以下本部ト称ス）ハ保利銀公司（以下本公司ト称  
ス）ニ向ヒ通用銀五百萬元ヲ借入レ訂立ノ契約左ノ如シ

三 対中国借款関係雑件（一）三四一

二九五

### 三 对中国借款関係雑件 (一) 三四一

二九六

三元ヲ引去リ第三年期満償還スヘキモノハ毎百元ヨリ一元五十仙ヲ引去リ第四年期満償還スルモノハ引去ラザルモノトス

借款ノ一部分償還後其利息ハ元金ニ応シ減少スヘク若シ期限前繰上ヶ償還スルモノハ其利息ハ償還ノ日迄ニ止ムルモノトス

第九条 借款ハ本部ノ得ヘキ制錢煉銅ノ余利ヲ以テ之ヲ償

還ス不足ノ時ハ本部ヨリ別ニ適當ノ款ヲ以テ補足スヘシ

第十条 本公司ハ本契約第四条規定ノ期限内ニ借款額ヲ期限通り交付シ得ザル時ハ本契約ハ廃止サルモノトス

第十二条 本契約ハ本公司ヨリ他人或ハ他公司ニ譲与又ハ引請ケシムルヲ得サルモノトス

第十三条 本契約ハ三通ヲ作リ本部及ヒ本公司各一通ヲ執リ其他ノ一通ハ國務院ニ保存スルモノトス

第十四条 本契約ハ国会通過ノ日ヨリ効力ヲ發生スルモノトス

(附記二)

財政部ト保利銀公司訂立ノ收煉制錢契約

財政部(以下本部ト称ス)ハ保利銀公司ニ向ヒ(以下本公

第五条 銅貨鑄造ノ費用及ヒ鑄余リハ均シク本部ノ自理ニ帰シ本公司ト涉ルナシ

第六条 鑄造及銅貨發行ハ國家ノ幣制ニ關係スレハ均シク本部ヨリ主持シ本公司ノ閥与ヲ許サ、ルヘシ但シ本部力

必要ト認ムル時ハ本公司ニ委託シ代ツテ發行セシムルコトヲ得

第七条 本公司制錢銅斤ノ收買及運輸ハ應サニ本部ヨリ各省地方官ニ通達シ一体ニ保護セシメ並ニ本部ヨリ護照ヲ發給シ閥卡ニテ隨時通過セシムヘシ

第八条 本公司ニ督辦一名ヲ設ケ本部ヨリ呈明派充シ公司中一切ノ事宜ヲ監督稽查セシム督辦助理員十人ヲ酌設シ督辦ヲ輔助シ文書稽查核算等ノ事務ニ任ス若シ必要アル

時ハ酌量增加シテ總理協理各一名ヲ設クルヲ得ヘク株主

總会ヨリ公舉シ本公司ノ用人營業ニ對シ完全ニ責任ヲ負フヘシ但シ須ク隨時督辦ニ呈明シ若シ不当ノ處アレハ督辦ハ本部ニ呈明シテ之ヲ制止スルヲ得重要事件ニ關シテ

ハ督辦ヨリ總理協理ト共同之ヲ商定シ董事七人乃至九人ヲ設ケ其中二人ハ本部ヨリ選派シ其他ハ公司株主ヨリ公

舉シ監察員四人ヲ設ク半ハ本部ヨリ選派シ半ハ本公司株

司ト称ス)五百万元ヲ借款セルニヨリ特ニ本公司ニ收煉制錢ノ權利ヲ与フヘク双方訂立ノ契約左ノ如シ

第一条 本部ハ本公司ヨリ五百万元借款セルニヨリ本公司ニ特許スルニ国内ノ制錢ヲ收煉スルノ權利ヲ特許シ其期限ハ第一回借款交付ノ日ヨリ起算シ四年ヲ以テ限リトシ

其收煉制錢ノ數目ハ應サニ市面ノ狀況ニ視本部ヨリ酌定スヘシ

第二条 取煉制錢ノ資本定額五百萬元トシ統テ本公司ヨリ募集シ契約調印ノ日ヨリ一ヶ月以内ニ須ク二百萬元ヲ集足シ以後陸續增加スヘシ但シ必ス須ラク三ヶ月内ニ數ノ如ク集足シ隨時本部ヨリ員ヲ派シ検査スヘシ

第三条 取煉制錢ノ利益ハ一切ノ支出ヲ引去リテ之ヲ十五分シ本部ハ五分ヲ得ヘク收錢ノ各省ハ三分ヲ得本公司ハ七分ヲ得ヘク獎勵金モ此内ニ在ルモノトス

第四条 政府需要ノ銅斤ニテ銅貨鑄造ノ時本公司ハ須ラク鍊成ノ銅斤ヲ造幣廠ニ売与スヘク其價值ハ取煉制錢ノ資本ヲ以テ限リトス增加スルヲ得ス惟タ此種ノ銅斤ノ數ハ

応サニ補助貨鑄造ニ足ルヘク公司收ムル所ノ制錢ノ數ニ等シキヲ以テ標準トス

第十一条 本公司所有ノ天津煉銅廠及他處ノ土地房屋機械等ノ資產ニシテ本公司ニ必要ノ時ハ双方ヨリ公同シテ価格ヲ見積リ毎年價格百分ノ十ノ使用料ヲ本部ニ納ムヘク若シ破損等ノ事アレハ本公司ヨリ賠償スヘシ

第十二条 本公司ハ借款契約第四条規定ノ期限内ニ若シ數ノ如ク借款ヲ交付スルコト能ハサルカ或ハ本契約第二条ノ規定通り資本ヲ募集シ能ハサルカ或ハ本公司カ發生ノ事故ニヨリ收錢煉銅進行不能ノ時ハ本契約ヲ廃止スヘシ

第十三条 本公司章程株券募集章程及其他重要ノ事宜ハ均シク本部ニ呈報シ許可ノ上効力ヲ發生スルモノトス

第十四条 本契約ハ本公司ヨリ他人或ハ他公司ニ譲渡又ハ

三 対中国借款関係雑件 (一) 三四一 三四三 三四四

引請ヲ為サシムルヲ得ス本部モ亦契約期限内ハ收回自辦

又ハ他人ト同様ノ契約ヲ訂立スルヲ得ス

第十五条 本契約ハ三通ヲ作リ本部ト本公司ト各一通ヲ執

リ其余ノ一通ハ本部ヨリ國務院ニ差出シ保管スルモノトス

第十六条 本契約ハ国会通過ノ日ヨリ効力ヲ發生スヘシ

三四二 二月二十三日 在中国芳沢臨時代理公使ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

保利銀公司契約案中國両院協議会通過ノ件

第二一六号

保利公司契約案ハ二月十六日公第五八号両院協議会決定通  
二十二日国会ヲ通過セリ

三四三 二月二十三日 在中国芳沢臨時代理公使ヨリ  
本野外務大臣宛

保利銀公司借款制錢案国会通過ノ件

(三月一日接受)

公第六九号

大正六年二月二十三日

在支那

來ス結果トナリ且ツハ本問題未解決ノ為メ我對支關係上ニ  
モ種々面白カラザル影響ヲ及ボス虞モアルニ付此際政府ニ  
於テハ本問題ヲ一掃スルノ趣旨ニ依リ若シ先方ニ於テ期限  
ノ到来ヲ待タズ速ニ借款金ヲ返済スルニ於テハ本借款附帶

契約面ノ利權ハ之ヲ拋棄スルコトニ決シタリ右ハ即時ニ全  
部返済スルコトナラハ最好都合ナルモ已ムヲ得ザレハ借款  
額ヲ幾回カニ分チテ塩稅剩余金引渡ノ都度其内ヨリ支払ハ  
シムルコトトナスカ如キモ一案ト思考ス尚本問題一掃ノ件  
ハ久原ニ於テモ承知済ニ付詳細ハ近ク貴地ノ代表者ヘ右ノ  
趣旨ヲ以テ交渉方ヲ命令スル運ヒト成ルヘシ貴官御含迄

三四五 三月十四日 小池久原鉱業理事事  
興亞公司借款問題一掃ニ關スル件

拝啓陳者予及御内議置候興亞公司借款ノ件ニ關シ今般大  
藏省トモ協議ノ上在支公使ヘ宛別紙写ノ通電報致置候ニ付  
貴方ヨリモ右電報ノ趣旨ニ準シテ在北京代表者ニ対シ必要  
ノ指揮ヲ與ヘラレ且其結果報告有之次第當方ヘ御通報相成  
候様致度別紙<sup>(註)</sup>在支公使宛電報寫相添ヘ此段申進候 敬具

註 別紙ハ前掲二付省略ス

三 対中国借款関係雑件 (二) 三四五 三四六 三四七

臨時代理公使 芳 洯 謙 言(印)

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

保利公司借款制錢案国会通過ノ件

保利公司借款及制錢收煉契約案両院協議会通過ノ次第ハ二  
月十六日附公第五八号ヲ以テ及報告置候處其後衆議院ハ二  
月二十日參議院ハ二月二十二日右協議會報告ニ基キ形式的  
ノ通過手続ヲ了ヘ国会ノ関スル限り全然協議會通過ノ通り  
確定議ト相成候此段及報告候也

三四四 三月十三日 在中国芳沢臨時代理公使ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

興亞公司借款問題一掃ノ為ノ我方ノ方案通報

第二一八号

ノ件

興亞公司借款ニ關シテハ曩ニ契約改訂ノ目的ヲ以テ久原ヲ  
シテ支那政府ト交渉セシメタルモ協議容易ニ纏マルノ見込  
ナク殊ニ一方我方ニ於テ飽迄右借款契約面ノ利權ヲ主張ス  
ルトモ到底之カ為成効ヲ期スルノ見込相立タザルノミナラズ  
反テ之カ為本邦資本家ノ湖南省方面ニ於ケル事業ニ支障ヲ

三四六 三月十四日 小池久原鉱業理事事  
幣原外務次官宛

興亞公司ノ利子払込アリタル件

大正六年三月十四日

久原本店 小池 張造(印)

外務省

幣原次官殿

拝啓時下愈御清穆奉賀候陳者在北京警方代表者ヨリ別紙ノ  
通り來電有之候ニ付不敢御通知申上候、猶乍御手數大藏  
省ヘ御通知方可然願上候 敬具

(別紙)

興亞利子ノ内拾万円ハ上海正金ヘ振込ミタリ正金ヨリ東京  
久原ヘ電送ス

残リ五万円ハ東京駐在章公使ヨリ御受取ヲ乞フ

三四七 三月二十四日 在中国林公使ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

保利公司中國国会ノ修正ヲ不満トシ解散ヲ宣

言シタル件

四一五号

二九八

三 対中国借款関係雑件 (一) 三四八 三四九 三五〇 三五一

三〇〇

往電第一二六号ニ関シ保利公司ハ制錢收煉契約ニ関スル國會ノ修正ヲ不満トシ自カラ解散ノ已ムナキニ至レル理由ヲ宣布セリ

三四八 三月二十四日 本野外務大臣ヨリ  
勝田大蔵大臣宛

保利公司解散ヲ宣言シタル旨通報ノ件

政送第一二一号

保利公司解散ニ関スル件

保利公司借款及制錢收煉契約案カ修正ノ上支那国会ヲ通過シタル次ハ三月六日付政送第九三号ヲ以テ及御通報置候

處三月廿四日在支林公使ヨリ同公司ハ右国会ノ修正ヲ不満トシ自ラ解散ノ已ムナキニ至レル理由ヲ宣布シタル旨電報

有之候間御参考迄右及御通報候也

三四九 三月二十六日 本野外務大臣ヨリ  
在米國佐藤大使宛

保利公司解散ニ關シ通報ノ件

政送第一三号

保利公司解散ニ関スル件

制錢收煉ヲ目的トスル保利公司ノ件ニ關シテハ往電第一

興亞公司借款金ノ返済要請ニ關スル書面写送  
付ノ件

附屬書

四月一日付野田興亞公司代表者ヨリ陳財政總長

宛書翰写

興亞公司借款金返済要請ニ關スル件

機密第一二九号

(四月十日接受)

在支那

特命全權公使男爵 林 権 助(印)

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

興亞公司借款契約改訂ハ容易ニ協定ノ見込無之ニ付貴電第二一八号ノ趣旨ニ基ツキ在当地興亞公司代表者ヨリ借款金全部至急返済方陳財政總長宛別紙写ノ通り請求ニ及ヒタル次第ハ不敢往電第四六七号ヲ以テ及電報置候ハ共為念更ニ別紙相添此段申進候也

(附屬書)

写

敬啓興亞借款ニ附帶スル水口太平両鉱山事業ニ關シ昨年十一月二十六日附ヲ以テ弊公司ノ所見陳述致置候以來貴政府特派委員周大鈞氏及彭繼昌氏ト交渉ヲ重ね水口太平両鉱山ハ貴政府ニ於テ実行御困難ニ候得バ之ニ代ルベキ相当ノ事

号等ヲ以テ申進シ置キタル次第有之候處其後支那国会ニ於テ同公司借款及制錢收煉契約案ニ対シ同公司ニ不利ナル修正ヲ加ヘタルカ保利公司ハ右国会ノ修正ヲ不満トシ自ラ解散ノ已ムナキニ至レル理由ヲ宣布シタル旨在支林公使ヨリ報告有之候間右及御通報候也

本信写送付先 在紐育總領事

在市俄古領事

三五〇 四月三日 在中國林公使ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

久原ノ代表者ヨリ興亞公司借款金ノ返済方ヲ

中國側ニ申入レタル件

第四六七号

(四月四日接受)

貴電第二一八号ニ關シ在当地久原代表者ハ貴電ノ趣旨ニ基キ借款金ノ至急返済ヲ要求シ返済ノ上ハ事業上ノ主張ヲ放棄スル旨ノ書面ヲ四月二日財政總長ヘ送付セリ委細郵報ス

(奉天経由四月三日後二、五五)

註 前掲三四四文書

三五一 四月四日 在中國林公使ヨリ  
本野外務大臣宛

大正六年四月二日 興亞公司代表者 野田儀一郎  
財政總長 陳錦濤殿  
敬具

三 対中国借款関係雑件 (二) 三五一

三〇一

三五一 四月六日

小幡政務局長ヨリ  
小幡久原鉱業理事宛

久原代表者ニ於テ興亞公司借款金返済方ヲ申

国側ニ要請シタル旨通報ノ件

拝啓陳者在北京貴会社代表者ニ於テハ予テ當方ヨリ林公使宛電訓ノ趣旨ニ基キ本月二日支那財政總長ニ對シ興亞公司借款金ノ至急返済ヲ要求シ且返済ノ上ハ事業上ノ主張ヲ放棄スル旨ノ書面ヲ送付セリトノ趣林公使ヨリ電報有之候条右不取敢御通報申上候尚本件詳細ハ追テ郵報ニ接スル筈ニ有之候 敬具

三五三 四月十日

在中国林公使ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

興亞公司借款金返済方要請ニ対シ中国側ヨリ

回答アリタルニ付請訓ノ件

第四九六号 (四月十一日接受)

往電第四六七号ニ關シ財政部ヨリ大要左ノ如キ回答ニ接シタリ回答郵送ス  
現約附属第五条ニ照シ相当ノ担保ヲ提供スヘキ筈ナルヲ以テ本部ハ嘗テ印花稅收入ヲ提供シタルコトアルガ今回モ矢

張り右收入ヲ提供致度尚未借款全部返済ノ義ハ未ダ其期限ニ達セザルモ若シ大借款成立セバ直ニ全部償還スベシ云々。

目下興亞代表野田帰朝久原代表三沢ニ於テハ右書面ニ對シ何等措置ヲ執ラズ單ニ右書面ヲ本店へ郵送シ本店ヨリ書面ニテ支那側ト交渉スルコトナリ居ル趣ナルガ貴電第二一八号末段ニ依レハ本件ハ当地ニ於テモ相當交渉ヲ進ムルコト出来得ル様思料セラル所右書面ノ交渉ニテ差支ナキヤ何分ノ義御返電アリタシ(奉天經由四月十日後一〇〇)

三五四 四月十八日 在中国林公使ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

中国財政總長ノ保利公司ヨリノ收賄問題ニ關

スル件

第五一七号

目下財政總長并ニ次長カ保利公司ヨリ收賄シタルトノ事件発生シ真相尚判明セサル点アルモ免ニ角事実ナルカ如ク右ニ就テハ別ニ公信ヲ以テ報告スル所存ナルガ本件ニ關シ十七日段總理ハ參衆兩院ニ於ケル質問ニ對シ司法官憲ヨリ起訴スルコトナルヘキ旨答弁シタル趣ニ有之其結果ハ素ヨ

リ予断シ難キモ財政總長次長共ニ予テ世評モ良好ナラザル等ノ關係モ有之此ノ機ヲ以テ免官サルコトナルヘク且ツ此ノ機ヲ動機トシテ或ハ他ノ二三閣員モ影響ヲ受ケ内閣改造ノ段ニ至ルヘキカト思考セラル

三五五 四月十九日 在中國林公使ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

ヲ以テシテハ本件借款担保トシテ十分ト認メ難キニ付更ニ他ノ適當ナル資源ヲ提供スル様申入レ度シトノ意見ヲ有スル趣ニ有之右久原ノ意見ニ關シテハ当省ニ於テ異議無之候処本件ニ關スル貴省何分ノ御意見至急承知致度別紙林公使來電写相添此段及照会候也

註 林公使來電第四九六号ハ前掲ニ付省略ス

三五七 四月三十日 勝田大蔵大臣ヨリ

本野外務大臣宛

興亞公司借款金ノ償還方ニ關シ大蔵省意見回

示ノ件

(四月三十日接受) 秘乙第七八二号

本月二十五日附政機密送第八七号ヲ以テ御照会相成候興亞公司借款担保ニ關スル件了承然ル處久原側ノ意見ヲ認メ支那政府ニ對シ新ニ資源ノ提供ヲ要求スルコトハ支那政府ノ

実情ニ考ヘ或ハ徒ニ本件ノ解決ヲ遷延セシムルニ了ルノ虞有之様被存候ニ就テハ今一応支那政府ニ對シ過般駐支公使ヘノ御訓電ノ通り本件ノ如キ紛糾セル案件ヲ長ク未定ノ状態ニ置クコトハ日支親善ニ必要ナル今後ノ施設ニ對シ支障不妙故早ク之ヲ終結セシメ度而テ一時ニ之ヲ返償スルコト政機密送第八七号

三五六 四月二十五日 本野外務大臣ヨリ  
勝田大蔵大臣宛

興亞公司借款担保ニ關スル件

本件ニ關スル別紙林公使來電写ハ當時已ニ貴省へ及御送付置候處右ニ關シ久原側ニ於テハ差当リ支那側ニ對シ印花稅

三 对中国借款関係雑件 (一) 三五五 三五六 三五七

### 三 対中国借款関係雑件 (三) 三五八 三五九

三〇四

ハ支那政府ニ於テ苦痛トスル所ナルベケレバ數度ニ分割シテ返償ヲ容易ナラシムル為メ今後支那政府ニ交付セラルヘキ塩税剩余ノ内ヲ以テ交付ノ都度数回ニ本借款ノ償還ニ充當セシメ度趣旨ヲ明ニシテ先方ニ交渉セシメラレ候様致度尤モ政治借款成立ノ暁ハ一時ニ返償セシムルコトハ支那政府ト興亞公司トノ間ニ於ケル契約条項ニ照シ当然ノ儀ニ有之右当省意見及回答候也

大正六年四月三十日

大蔵大臣 勝 田 主 計(印)

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

三五八 五月十五日 在広東太田総領事(ヨリ)

本野外務大臣(ヨリ)

興亞公司借款金ノ返済問題ニ関シ回訓ノ件

第三八三号

貴電第四九六号ニ閲シ貴官ヨリ支那政府当局員ニ対シ本件ノ如キ紛糾ヲ重ネタル問題ヲ長ク未定ノ状態ニ置クコトハ日支親善ノ為ニスル今後ノ施設ニ対シ支障少ナカラサル次第ヲ述べ往電第二一八号ノ趣旨ニ依リ速ニ借款金ヲ返済スルコト結局彼我ノ為得策ナルコトヲ説示セラレ結果電報ア

### 三 広東省セメント廠借款

三〇五

三五九 一月一日 在広東太田総領事(ヨリ)

廣東借款ノ台銀提出条件ニ対スル先方申出ヲ

第一号 承認ノ件

貴電第一七三号ニ閲シ資本家側ニ於テモ大体貴地台灣銀行支店長ノ申越ニ異議ナク尚当方ニ於テモ同意見ナリ詳細ハ台灣銀行ヨリ貴地支店長宛電報ニテ御承知アリ度シ  
(欄外註記)  
「本件ハ十二月三十一日山成台銀取締役出頭広東支店長申出通ニテ決定シ借款成立方ヲ希望スル旨陳述セリ 小幡」

註 日本外交文書大正五年第一冊五五八文書

三六〇 一月八日 在広東太田総領事(ヨリ)  
本野外務大臣宛(電報)

広東セメント廠借款ハ劉總弁ト協議ノ上決定

第三号

ナリ  
北京へ転電セリ

三六一 一月十七日 在広東太田総領事(ヨリ)

本野外務大臣(ヨリ)

廣東借款ノ担保ニ閲シ台銀及劉總弁間意見一

致セザルニ付本件借款ノ迅速成立困難ナル件

第六号

往電第三号ニ閲シ台灣銀行支店長ハ劉總弁ト協議シタルモ「セメント」廠抵当ニ閲シ商議纏ラズ尚劉總弁ヨリ別ノ条件ヲ以テ台灣銀行ニ対シ計三百万円ノ借款ヲ申込ミタルモ台灣銀行ノ同意ヲ得難キ模様ナリ尚昨十五日本官朱省長ヲ往訪シタルニ朱ハ財政府長同席ノ上借款ノ成立ハ切ニ希望スル處ナルモ唯中央政府ヨリ官産処ト商議スヘキ旨電命アリ而シテ官産処側ハ「セメント」廠ヲ抵当トスルコトヲ承認セザルヲ以テ遺憾ナガラ本借款ハ迅速ニ成立セシムルコト困難トナリタリ  
右在支公使へ転電セリ

銀行借款ニ閲シテモ多少意思ノ疏通ヲ欠キ意見一致セザル点モアルモノノ如ク夫等ノタメ談判稍々行惱ノ状態ナリ尚更ラニ財政厅長劉總弁同席シ台灣銀行支店長ト協議スル告

三 対中国借款関係雑件 (三) 三六〇 三六一 三六二

三〇五